

# No.17 生物共生型 港湾構造物（人工タイドプール）

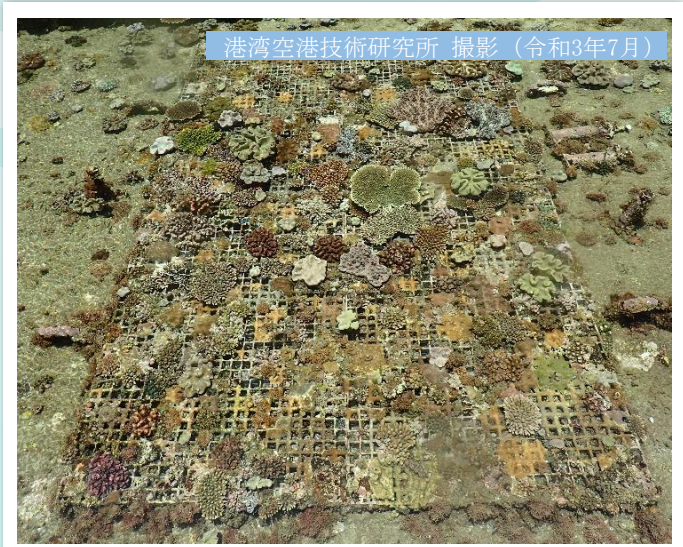
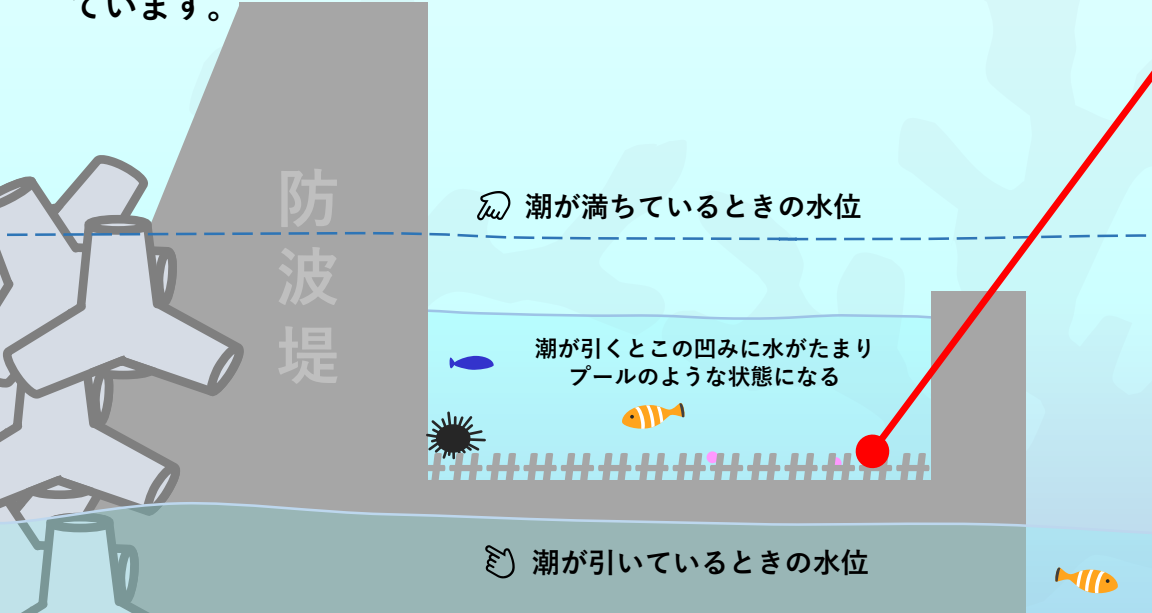
那覇港内の防波堤にはサンゴなどの生き物がすみやすいよう工夫されているものがあります。その一例として、“人工タイドプール”を紹介します。

## 人工タイドプールとは？

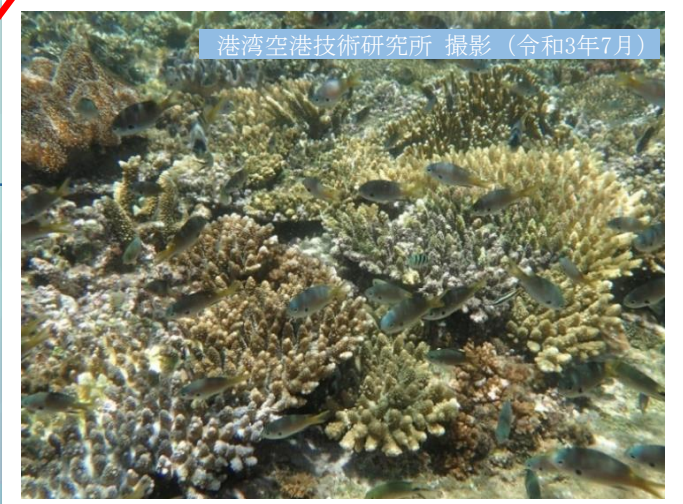
サンゴ礁に囲まれた浅い海（イノー）では、海の水が引いたとき（干潮の時）に岩などのくぼみにできる水たまりのことをタイドプールと言います。

人がつくったタイドプールを“人工タイドプール”といい、サンゴが育ちやすい浅い場所となります。

タイドプールでは、サンゴの赤ちゃん（幼生）がプール内にとどまりやすくなります。プールの底には、赤ちゃんがくっつきやすく、良い環境で育つことができる、格子状をした「グレーチング加工」などの工夫がなされています。



人工タイドプールの底に施されたグレーチング加工



人工タイドプールで育つサンゴと生き物